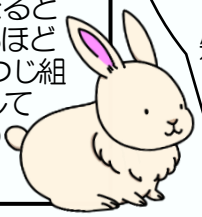
ちいさなたね【幼児おたより】

２０２３年度　３月

うさぎ組・ひつじ組・ぞう組

聖和乳幼児保育センター

　ピンクの帽子、毎日上る階段、ランチルームでの給食など、何もかもが新しいうさぎ組への進級から早くも１年が経とうとしています。乳児クラスから幼児クラスになり、初めての運動会や大きなプール、バス遠足、劇遊びなど色々な経験をし、心も身体も大きく頼もしく成長しました。特に劇遊びでは、初めは少し恥ずかしそうにしていた子どもたちも、役が決まりダンスを一緒に考え、日々の取り組みを重ねるうちに次第に声も大きくなり、楽しそうに自信を持って取り組む姿がとても印象的でした。友だちの存在にも目を向け、声をそろえようとしたり、表現する動きを認め合ったり、友だちと一緒に力を合わせて取り組めた素敵な劇になりました。保育参観日が終わってからも**「きょうもおおきなかぶするんでしょ？」**と楽しみにしている様子で、表現することの楽しさを一生懸命に伝えている子どもたちです。
　４月からはみんなが楽しみにしているひつじ組です。「４月になると何組ですか？」と聞くと、質問の途中で**「ひつじぐみ！」**と答えるほど進級を心待ちにしている子どもたちです。大きくなった喜びと、ひつじ組への進級を嬉しい気持ちで迎えられるように残りの日々も大切に過ごしていきたいと思います。この一年間、保護者の方と共に子どもたちの成長を見守り、喜び合うことができましたこと、感謝いたします。



ランチルームの
ひな飾りを一緒に見ながら
話をしていた時のことです。

保育士「この５人いる人たちのこと
知ってる？」
Ａちゃん「しらない！！」
保育士「じゃあヒントあげるね。
♪ご～にん……？」
**Ｂちゃん「♪ご～にんばやしの
ふえたいこ～…
あ！ふえたいこさんや！！」**
知っている歌から「これだ！」と
自信満々に答える姿が
すてきでした。

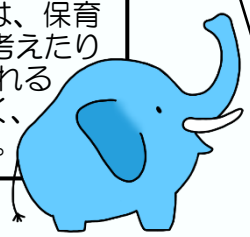
　あっという間にひつじ組も残り１か月となりました。先月の保育参観では、**「おうちの人が笑ってくれて嬉しかった！」「がんばってたねって褒めてもらえた」**と喜んでいました。劇遊びの取り組みを始めた頃は、緊張から声が小さくなる姿が見られましたが、『金のガチョウ』のお話を伝えたい、笑ってほしいという気持ちから、日を重ねる毎に声も大きくなり、表現することに喜びを感じ、自信に繋がっている子どもたちでした。
また、取り組む過程で友だちの良いところを見つけ、互いに励まし合うことや認め合う姿が見られました。ここまで、ひつじ組で過ごす喜びを感じながら、様々な経験をする中で心も体もすくすく大きくなった子どもたちです。時には友だちと思いがぶつかることもありますが、子ども同士で気持ちを伝え合う姿に成長を感じています。これからも一人ひとりのありのままの姿を大切に見守り、友だちと一緒に力を合わせて取り組むことの楽しさや喜びを感じられるように過ごしていきたいと思います。
「もうすぐぞうぐみになるね」とワクワクしている子どもたちです。一人ひとりが嬉しい気持ちで進級できるように、残りのひつじ組での生活も大切にしたいと思います。
この一年間、保護者の方と共に子どもたちの成長を見守り、喜び合うことができましたこと、感謝いたします。

ひつじ組では、２階
テラスの畑でいちごを
育てています。

ある朝、いちご畑を見たＡちゃんが
「畑ににんじんみたいなのがささってる？」と不思議そうにしており、朝の話し合いでみんなに知らせてくれました。

いちごが元気に育つようにと園長先生が栄養をあげてくれたとを伝え、みんながぞう組になる頃、食べられるといいねと話すと、**「えー！ぞう組になったら？！早く食べたーい！」「その次はさつまいもを育てるんだよね！」**と
期待に胸を膨らませる
子どもたちでした。

　ぞう組での生活も残すところ１か月となりました。これまで友だちや保育者と一緒にたくさんの経験を積み重ねてきました。しあわせの村でのお泊まり保育や焼きマシュマロを楽しんだキャンプファイヤーごっこ、みんなで力を合わせて取り組んだ運動会の組体操やリレー、クリスマスページェントでは、心を合わせてクリスマスの嬉しい出来事をたくさんの人に伝えました。また、先月の劇遊びでは、みんなで協力しながら、楽しい『かにむかし』の物語を抑揚のある言葉や躍動感のある動きで表現していました。子どもたちは、様々な経験を通して心も体も大きくたくましく成長した一年でした。最近は、卒園や就学を意識する言葉がよく聞かれます。**「もう一回あり組からやりたいな」「やっぱり、小学校で勉強するのも楽しみだから、早く卒園したいかも」**と寂しさと楽しみの間で気持ちが揺れ動いている子どもたちです。一つひとつの思い出を振り返りその時々の気持ちをしっかりと受け止め、小学校への期待に胸を膨らませながら残りの日々を子どもたちと大切に過ごしたいと思います。
　３月１２日(火)にはお別れ会、１６日(土)は保育修了式があります。お別れ会では、これまでお世話になった先生たちや一緒に遊んだ小さいクラスの友だちにプレゼントを考えて作ったり、保育修了式では、保育センターでの日々を思い出しながら、お別れの言葉や歌の歌詞を考えたりしています。ここまで神さまやお家の方にたくさん愛され見守られる中で大きくなったことに感謝し、最後まで今年度のぞう組らしく、笑顔いっぱい、力いっぱいの毎日を過ごしていきたいと思います。



何気ない会話をしていた時の
ことです。

**Ａちゃん「先生、わたしね、
早くお母さんになって
赤ちゃん産みたい」**
保育者「そうなの？」
**Ａちゃん「だって、赤ちゃんが
保育センターに入れたら、
また先生たちに会えるから」**
Ａちゃんの嬉しい言葉に涙が
出そうになりました。